



【学芸員のお仕事】

はにわ館 10 周年記念特別展は、会期中は 2000 人を超えるお客様にご来館いただき、盛況のうちに終了しました。今回は、展示の舞台裏を紹介します。

博物館の展示は、学芸員が企画します。学芸員とは、大学などで「博物館学」を学んだ者に与えられる資格です。文化財センターには 2 名の学芸員が勤務しています。展示準備は 1 年ほど前からはじまります。どんな展示にするか、そのためにどんな資料が必要か……。一番頭を悩ます仕事です。内容が決まれば、資料を所蔵する博物館との交渉がはじまります。うまく借りられるといいのですが、運悪く他の博物館が先に約束していて借りられないことも……。実際に資料を借りる博物館におじゃまして、資料の大きさや借りる時気をつけなければならないことを教えてもらいます。



↑お借りする資料を実際に事前調査し、大きさなどを確かめます



↑お借りする大切な資料を慎重に荷造り

借りる資料が決まったら、必要な書類を作成します。国宝や重要文化財を借りる場合は、文化庁（国の役所）の許可も必要になります。同時に展示レイアウトを考える、資料を運ぶ運送業者を決める、販売する図録の編集作業などをおこないます。

展示が近づくと、会場に貼るパネルや模型を職員が協力して作ります。その間に学芸員は、資料を借りに各博物館をまわります。大切な資料が輸送中に壊れないよう荷造りして「はにわ館」に運び、慎重に展示ケースに納めます。学芸員にとって最も緊張する場面です。

そして会場準備が整ったところでいよいよ開会!! ほっとする間もなく次の展示準備にとりかかる……。学芸員のお仕事はけっこうハードです。でも、展示をご覧いただいたお客さまから「良い展示ですね」の言葉をはげみに日々の仕事がんばっています。(担当)

【新しい年のはじめに】

新春

しんさんみん
真山民

よとう わず かわ
余凍 雪 纒かに乾き
しよせい にわ あたた
初晴 日 驟かに暄かなり
じんしん しんさいげつ
人心 新歲月
しゆんい きゆうけんこん
春意 旧乾坤
けむり みどり やなぎ かえ
煙は碧にして 柳 色を回し
やけあと くさ たましい
焼は青くして 草 魂を返す
こうはく な
東風 厚薄無く
したが こうもん いた
例に随いて 衡門に到る



く余寒にのこっていた雪もようやくかわき、晴れたばかりのお日さまの光はたちまちあたたかくなる。人の心は新しい年とともに生まれかわり、春の気配は天地をもとのとおりにする（一説に変わらぬ天地に満ちるとも）。春がすみ青みどりにただよい、柳も色がもとにもどる。野焼きのあとは青々として草が生き返る。春の風はどこにでも同じようにおとずれ、いつものように私の家の門にもやってきた。>

新年明けましておめでとうございます。本年もよろしくお願ひ申し上げます。

人々のこころは新年とともにあらたになり、冬枯れからよみがえった天地に春の陽気がみちみちているという、「人心新歲月、春意旧乾坤」が実感できる季節です。

2013年（平成25年）の文化財センター展示始めは、企画展「松阪からこんなのでました♪'09→'12」（2月2日～3月24日）です。これは、2009年から2012年にかけて行ったさまざまな発掘調査の成果を、新資料や関連資料にもとづいてわかりやすく解説するものです。この企画展を通してひとりでも多くの皆さまに、松阪地域の埋蔵文化財についての知識や理解をふかめていただくことができればと願っています。(所長)

真山民 南宋（1127～1279）末の詩人

文化財センター はにわ館 & ギャラリー 1月の催し物予定

1月の休館日は、7日（月）・15日（火）・21日（月）、28日（月）です。

開館時間は9時～17時です（入館は16時30分まで）。

【はにわ館】 入館料 100円（18歳以下無料）

第1展示室 ■常設展「宝塚古墳の謎」

ロビー ■「はにわ館10周年記念 児童・生徒年賀状展」1/12（土）～1/27（日）

【ギャラリー】 入場無料

第3G ■三重のくらしの記録写真パネル展 12/12（水）～1/10（木）

第1G ■松阪工業高校繊維デザイン科「第19回卒業制作展」1/10（木）～1/14（月）

第2G ■森川久能写真展「燈火（あかり）」1/12（土）～1/13（日） *毎日16:30まで、最終日は16:00まで

第1・2・3G ■松阪市幼小中造形展 1/19（土）～1/22（火） *毎日16:00まで

第2G ■第3回勢風盆栽展 1/26（土）～1/27（日） *最終日は15:30まで

第3G ■松阪美術協会「第15回新春展」1/27（日）～2/3（日） *最終日は16:00まで



バーコード読み取り
（文化財センター情報）